

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

菊陽町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県菊池郡菊陽町

3 地域再生計画の区域

熊本県菊池郡菊陽町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は1970年代から40年以上に増加が続いており、1975年に13,138人であった人口は、2015年の国勢調査では40,984人となり、2021年4月末の住民基本台帳人口は42,981人となっている。

自然動態については、近年、年間500人前後の出生数を維持しながら、継続的に出生数が死亡数を上回り、2020年には215人の自然増にある。

社会動態については、大規模な住宅開発に起因し、特に1976年と2004年にはそれぞれ2,591人、2,999人の転入者がある等、転出者を差し引いた社会増減において転入超過の傾向が続いており2020年には326人の社会増となっている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口は増加し続ける見込みであり、2040年には49,217人となる見込みである。0歳から14歳までの年少人口は、2015年には7,286人（構成比17.8%）だったが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では2040年に7,869人（構成比16.0%）、15歳から64歳までの生産年齢人口は、2015年には25,673人（構成比63.1%）だったが、同推計では2040年に28,119人（構成比57.1%）と、年少人口及び生産年齢人口の人数は増加するがその割合が減少する見込みである。一方、65歳以上の老年人口は、2015年には7,696人（構成比18.8%）だったが、2040年には13,229人（構成比26.9%）まで増加する見込みである。

このように、2040年まで当面の間、人口増加は続くものの、将来的には年少人口割合及び生産年齢人口割合の減少や老年人口割合の増加が見込まれており、こ

れまでのような人口増加による町の経済の成長や発展が停滞していくことも見据える必要がある。

こうした課題にいち早く対応するため、本計画期間中、次に掲げる基本目標を実現するための施策を推進し、本町に更に「しごと」が生まれ、「ひと」が集い、活気あふれる「まち」づくりを目指す。

基本目標 1 菊陽町にしごとをつくる

基本目標 2 ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる

基本目標 3 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる

基本目標 4 地域の連携により、更なる好循環をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	2024年度の人口に対する生産年齢人口の比率	61.7%	61.4%	基本目標 1
イ	2024年度の人口	42,368人	45,538人	基本目標 2
ウ	出生数(4年間累計)	2,034人	1,884人	基本目標 3
エ	2024年度までの新規連携事業数	15事業	16事業	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

菊陽町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 菊陽町にしごとをつくる事業
- イ ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる事業
- ウ 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる事業
- エ 地域の連携により、更なる好循環をつくる事業

② 事業の内容

- ア 菊陽町にしごとをつくる事業
町内の企業や事業者を支援し、「しごと」を創り出すことにより、働く「ひと」を呼び込む事業

【具体的な事業】

- ・企業誘致等の促進による働く場所の確保
- ・菊陽町物産品の販路拡大
- ・優良農地の保全と担い手への農地の集積・集約化 等

- イ ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる事業
「まち」に「ひと」が集い、住む人が「住んでよかった」と思える、活気のあるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・英語教育の充実、情報通信端末を活用した ICT 教育の充実
- ・自治体における DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
- ・商業施設や商店街の振興によるまちの賑わい創出
- ・JR 新駅の設置と周辺整備 等

- ウ 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる事業
若い世代が安心して妊娠・出産・子育てをしやすいまち、高齢者が安全で元気に暮らせるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・JR 原水駅周辺のまちづくり
- ・保育サービスの向上と地域における子育て支援の充実
- ・児童・生徒の増加にも対応した学校環境整備
- ・健康ポイント事業を活用した健康づくりの支援
- ・オールドニュータウン再開発事業の推進 等

- エ 地域の連携により、更なる好循環をつくる事業

県、他市町村、民間企業等と事業の連携を行い、施策の効率性・有効性を高める事業

【具体的な事業】

- ・巡回バス、乗合タクシー等、公共交通サービスの充実
- ・JR 光の森駅前横断歩道橋の整備による交通安全確保
- ・JR 三里木駅の周辺環境整備の検討 等

※ なお、詳細は第2期菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

213,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者が参画する「菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」においてK P Iによる進捗状況の把握と効果検証を行い、必要に応じて施策や事業の追加・見直し等を行う。また、検証後速やかに本町公式ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで